

2016 年度手書き実技第 1 問

／はい、え～みなさん、本日はですね、現代における地域福祉の重要性と動向というテーマであるので、話させていただきたいと思います。

まずはじめに、現代はこの「地域福祉」というものが、まっ社会福祉の領域、まあいろんな複数の領域がありますが、その中でも、まあ重要なテーマになってきているというふうに考えます。例えば、かつての日本、日本の地域社会の中で、お互いさまとか、助け合いといったような地域の相互扶助によって人々の暮らしというものは、まあ支えられてきたといえます。みなさん、少し考えてみてください。今、隣近所で生活している人の名前ですとか、顔、一致する人がどれくらいいるのでしょうか。どうでしょうか、みなさん。まあ年齢、職業、あの～誰がどこに住んでいるのか、そして、あなたが何者か。隣近所の人を知っているのでしょうか。え～っともちろんそういったお互いの理解というのは、地域性にも左右されるのではないかと思います。

まあお互いがお互いを知って、そして助け合いながら生活してきた日本の伝統社会。え～そういったものは戦後ですね、高度経済成長期、いわゆる 1960 年代 70 年代に、特に日本では工業化、そしてそれに伴って都市化が急速に進みました。そして徐々にその互助、お互いが助け合う、特に近隣同士ですね。隣近所で助け合うといった精神が弱まる。いわゆる脆弱化してきたというふうに考えます。それはですね、背景として、工業化都市化が進んだことによって、人々はえっと都市に働きに来ます。そして、自分の住む地域というものは寝に帰るだけの場所。え～そういった場所になってきたという背景があります。しかしですね、近年、みなさん考えてみてください。自然災害、多発していますね。じ、地震、え～台風など、日本というのは非常に自然災害が多い国です。そこでですね、公的な援助だけでなく、隣近所の助け合いといった精神が非常に重要であるということは、みなさん周知の事実かというふうに思います。

え～次に、まあこの地域福祉というものが重要になってきた背景を少しだけ専門的にお話したいと思います。例えば、えっと高齢者や障害者、児童や子育て世帯に対する支援、え～そういったものは、え～っとかつて地域の中である程度まかなわれていた。え～いわばお互いに助け合うことで、え～支援ができていたものが、今ではですね、行政が、え～福祉サービスとして、まあ公式に行うようになってきています。特にですね、2000 年に、まああの公的な介護保険制度というものが開始されました。みなさん、よくご存じかと思いますが、実際に身の回りで、このサービスを利用している方も多と思います。これによってこの福祉のサービスというものが市場化、え～されてきていまして、まあ市場化というのは、こう、昔はお互いに助け合っていたものが、え～福祉のサービスが、まああの金銭のやり取り、まあサービスというものをえ～金銭もからんだサービスを

含むようになってきました。えっと、この介護保険制度が開始されたということは、この地域福祉を捉えるでは、この見逃すことができない、非常に大きな要素となっています。そしてですね、いわば適切なサービスをえ～その人、一人一人が受けながら、在宅で、つまり住み慣れた地域、そして自宅で生活できる環境の整備というものが、え～今、非常に重要になってきています。

しかし、こう、行政、公的なサービスは、というものは領域が非常に広がってきてはいるんです。え～できること増えてきていますが、え～このフォーマルな福祉サービスというものは、もともと戦後の貧困者対策、え～戦争孤児対策ですとか、え～ほか高齢者の福祉施策。あと身体障害者や知的障害者施策。あと、そのときどき、その時代の背景によって、要請され高まったニーズ、社会的なニーズに応じて、その分野毎、例えば高齢者なら高齢者分野、児童なら児童分野、障害者なら障害者分野毎に、サービスや施策が整備されてきたという歴史的な背景があります。このように公的な福祉サービスというのは、まあ各分野で発展はそれぞれしてきたのですが、どうしても、この制度の谷間というものがあり、え、そこに対応できない問題や、え～住民の存在というものも見逃すことはできません。そのようなこう地域に点在する多様なニーズについて、このすべて公的な福祉サービスで対応できるでしょうか。ちょっと難しいと思います。え～ですので、福祉サービスは公的なものだけでは、どうしても十分というふうにはいえないと考えます。